

福井県高P連会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
(福井県生活学習館「ユー・アイふくい」内) 平澤 良典



来年福井へ来てね～ 関連記事 4・5頁



今年度の活動について

福井県高等学校PTA連合会 会長 平澤 良典

今年度の会長をさせて頂くことになりました。福井商業高校PTA
顧問の平澤です。どうぞよろしくお願い致します。

当連合会は、県内の高校三十校によるPTA連合会で、子供たち
のために連携して情報を共有し合って活動を行なっています。
今年度は、来年に迫った全国大会の準備もありますが、例年同様
の活動も実施していく予定です。県内の高校生が安全で安心して学
べるための活動や、保護者と教職員のための研修行事などを実施し、
福井県のPTAのレベルを高めることが、来年の全国大会の開催を
支える底力になると思つております。

また、全国的にいじめや体罰指導の問題、さらに本県では高校の再
編や中高一貫教育に向けての取り組みなど、子供たちを取り巻くさ
まざまな課題に対し、PTA連合会としてもしつかりとしたスタンス
を持ち、必要に応じて関係機関と協力して対応していく必要がある
と考えています。

来年八月に全国高等学校PTA連合会大会を本県にて開催します。
これは三日間の期間中に、全国から一万人前後の参加者をお迎えす
る大規模な大会です。人口が少なく加盟校の少ない小さな県ですが、
多くの偉人を輩出し、全国トップレベルの教育水準を誇る福井県な
らではの大会になるよう、昨年七月からの約一年間、準備委員会にて
着々と準備を進めてきました。今年の六月五日には実行委員会に移
行し、大会の成功に向けて活動しています。

来年の大会当日及び直前の準備の際には、各校から合計千人を超
えるスタッフが必要となります。大会を成功させるためには、実行委
員会を中心とした「結束」と「行動力」に掛かっていると思います。
県内の加盟校のPTAが一致団結して取り組めば、きっと成功しま
す。福井県のPTAのレベルの高さも日本中にアピールしましょ
う。この一年間は、近年にない大変な年になります。PTA会員の皆様
には、それぞれの活動をご理解頂き、例年以上のご協力を願い申し
上げます。

第51回県高P連年次総会

会長に平澤良典氏(福井商業高校PTA顧問)を選出

六月五日(水)、AOSSA県民ホールで、三十一単Pから会員百八十名が参加して行われた。会長に代わって挨拶に立った高橋一郎副会長は、「平成二十四年度は、県高P連創立五十周年記念式典・記念祝賀会の開催、そして五十周年記念誌の発行、また二年後に迫った全国高P連大会福井大会に向けて、準備委員会を設立して準備を本格化させることなど、本当に忙しい一年でした。これらがほぼ予定どおり、無事終えることができましたのも、会員の皆様の絶大なご支援・ご協力があつたおかげです。心よりお礼を申し上げます。」と述べられた。



来賓として出席された林雅則県教育長は、「来年度はいよいよ福井県で全国大会が開催されますが、全国からたくさんの方々が機会は貴重であり、県全体で応援していかなければと考えています。福井県の教育は極めて高い水準にあり、昨年度一年間に全国から一、四〇〇名の方々が視察に来られました。また、現在、四県から六名の教員が本県で一～二年間の研修をしています。高校教育においても、職業教育の充実にいろいろ努力をしている結果、今春の卒業生の就職内定率は全国で一番でした。スポーツも今春の選抜野球には福井県から二校出場して大活躍するなど、国体に向けて非常に盛り上がっています。勉強でも、センター試験受験生の九割が、国公立を目指して五教科七科目にチャレンジし、英語のリスニングなどは全国トップレベルにあります。来年のPTAの全国大会では、『やっぱり福井の高校つてすごいな』と感じていたで、保護者の皆さんのお力添えをいただけれ

ば大変ありがとうございます。」と挨拶された。

続いて、西川満県高等学校長協会長(武生高校長)は、「一学期の学校教育のキーワードとして、安全安心、学力体力の向上、生徒の夢の実現の三つがあげられます。県教委がこの三月に作成した『福井県防災教育の手引き』では、自分の命は自分で守る、周りの人たちのことを考えられる心を育てることを目標としていますが、本校でもこの手引きに沿って避難訓練を実施しました。次に学力体力ですが、各学校ではスクールプランに学力向上に向けた重点目標、具体的な取組を発表し、学習意欲の高揚、授業改善、家庭学習の習慣化等に取り組んでいます。部活動にも力を入れ、春季総体では練習の成果を発揮した、手に汗を握る素晴らしい熱戦が展開されました。最後に、生徒の夢の実現ですが、武生高校ではPTA総会の後、「夢は必ず実現する」をテーマに、「共育大懇親会」を開催し、六つの分科会で

はテーマに沿った熱心な話し合いが行われました。生徒の夢の実現のために、保護者と教職員が手を取り合つて一丸となつて取り組んでいかねばとの思いを新たにいたしました。」と挨拶された。

この後PTA活動に特に功績のあつた四名が県教育委員会から表彰され、各校PTA活動に貢献された四十九名の方々が当連合会から表彰された。次いで広報紙コンクールの表彰が行われ、最優秀賞丸岡高校PTA以下九校PTAが表彰された。



*研究大会 十一月九日	A OSSA	*全国高P連大会 八月二十二日	山口市他
*PTA指導者地区研修会 十一月九日	A OSSA	嶺南 九月七日	三方青年の家
*キヤリアガイダンス研修会 十一月九日	A OSSA	嶺北 九月十四日	県生活学習館

三、平成二十五年度八月以降の主な大会・研修会

監事 川崎 弘美 (科学技術)
 理事 高田 一 (鰐江国)
 高川端 精治 (三國)
 田中 寺前 (羽賀水)
 伸恵 正人 (勝山)
 勝山 和夫 (敦賀水)

十一家博規
(小浜水産)

末永 (大) 公野

柿谷 好彦
(武生工業)

副会長

会長 平澤 良典 (福井商業)

二、平成二十五年度役員氏名

*県高等学校PTA連合会表彰
各校より推薦されたPTA役員四十九名

岩尾 勝三 (丹生)	大野 正樹 (美方)
真田 正幸 (大野)	谷出 雅博 (奥越明成)

一、被表彰者氏名(敬称略)

*県教育委員会表彰

岩尾 勝三 (丹生)

大野 正樹 (美方)

真田 正幸 (大野)

谷出 雅博 (奥越明成)

最優秀賞に丸岡高校

第10回 広報紙コンクール

平成25年度の広報紙コンクール審査会は、調査広報委員が審査員となり、また(株)福井新聞社編集局メディア整理部長の野路芳幸氏、河和田屋印刷(株) 営業部長の山形徳義氏を特別審査員にお迎えし、4月20日(土)県生活学習館において開催した。

今年度は、加盟31校から参加があり、審査に当たっては、①会員の求める情報ニーズに合っているか ②情報を簡潔に、要領よく伝えているか ③「読み易さ」という点で工夫しているか ④レイアウトの面で工夫されているか ⑤写真やカットを有効に使っているか等をチェックポイントとして、一つひとつ丁寧に審査し、各自、優秀と思われる広報紙に評価点を付けた。どれも甲乙付けがたく、非常に苦労したが、最優秀1校、優秀2校、佳作6校を決定した。佳作については、例年に比べて若干多くなつたが、それは得点が拮抗していたことと今後への期待を込めた結果によるものだ。なお、8月に開催される全国高P連山口大会において、丸岡高校と金津高校の広報紙を福井県の代表として掲示することもあわせて決定した。

また、表彰は、6月5日の年次総会の席上で行った。

最優秀賞 丸岡高校

優秀賞 金津高校、藤島高校

佳作 大野高校、高志高校、
羽水高校、足羽高校、
科学技術高校、
若狭高校





「福井大会」実行委員長に就任いたしました北風と申します。全国高P連大会が福井で開催されることは初めてであるということで、正直不安であり、責任の重さに身の引き締まる思いです。浅学非才の身ではありますが、一生懸命やりきる覚悟です。よろしくお願ひいたします。

準備委員会の皆様が、約一年間、十分に協議を重ねてこられたことを元に、県高P連会員の皆様と力を合わせて「福井大会」の成功を目指して頑張りたいと思っております。福井大会を成功させるためには、「結束」と「行動



北風実行委員長挨拶

会大会福井大会の開催まで、一年少しとなりました。準備を本格化させるために、六月五日の年次総会終了後、実行委員会設立総会を開催し、福井商業高校PTA会長の北風俊哉氏を実行委員長に選出しました。これから各専門部会やその下の班別会議で具体的な計画を立て、それを実行委員会役員会や実行委員会に諮り、決定していくことになります。度々会議が持たれることになると思いますが、実行委員の皆様、よろしくお願ひいたします。

力」が必要です。県高P連会員の皆様に出来る限り早く周知をし、ご理解とご協力を得て、県下一丸となつて福井大会を成功させたいと思います。

私たちも、保護者として大人として、実社会へ出て自立できる子どもを育てる役目を果たさなければなりません。そのためにも、自らが一生懸命行動し、人の出会いにより信頼関係を築き上げ、子どもたちに範を示す必要があると思います。私たちの一生懸命に取り組む姿が、子どもたちの生きる力を育てるのだと信じて、大会成功に向けて完全燃焼しましよう。

毎日お忙しいことと存じますが、PTA会員の皆様はすべて同世代のこともを持つ同じ立場です。何とぞ、皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。そして、全国から来られる約一万人も人が、福井の地で得たものを各地域でのPTA活動に積極的に活かしていただければ幸いです。

実行委員会役員

(平成二十五年度)

●実行委員長

北風 俊哉 (福井商業PTA会長)
敬称略 ○部長 ○副部長

●歓迎部

○河上 修造 (高志PTA副会長)
○吉岡 正修 (藤島PTA副会長)
○岩崎 真由美 (丸岡PTA副会長)
○尾川 正巳 (福井農林PTA副会長)
○堀 康子 (藤島校長)
○西川 満 (武生校長)

●資料広報部

○奥野 治樹 (敦賀特別委員長)
○新井 光雄 (鯖江PTA副会長)
○杉田 宏憲 (敦賀校長)

●分科会部

○柿谷 好彦 (県高P連副会長)
○末永 公秀 (県高P連副会長)
○十一家博規 (県高P連副会長)
○船木 繁樹 (羽水校長)
○橋本 久代 (足羽教頭)



実行委員会役員挨拶

これまでの取り組み

昨年七月に設立した準備委員会（中村潤一準備委員長 福井商業高校）が一年間かけて取り組んできた内容を会員の皆様に紹介したいと思います。

一万人規模の大会を成功させるには、各校PTA会員の皆様の絶大なる協力・支援が無くてはなりません。福井大会について、少しでもご理解いただければ幸いです。

大会日程（平成二十六年）

八月二十一日(木)

○前日諸会議

AOSSA

○歓迎レセプション ユアーズホテル

○開会式・全体会

八月二十二日(金)

○歓迎レセプション ユアーズホテル

○開会式・全体会

（主）サンドーム福井

（副）福井フェニックスプラザ

（副）敦賀市民文化センター

○分科会（七分科会）

第一 ハーモニーホールふくい

第二 越前市文化センター

第三 福井フェニックスプラザ

第四 敦賀きらめきみなと館

第一 鮎江市文化センター

特二 敦賀市民文化センター

全国高P連研究発表

サンドーム福井

八月二十三日(土)

○全体会・閉会式

サンドーム福井

各校の担当部会

・総務部会

福井商業、大野、三国、科学技術、

武生、羽水、坂井農業、丹生、

敦賀氣比

ボスター

田中 芙由子さん

美方高校二十五年三月卒業

「福井のシンボルを中心に取り入れ、それに伴って福井県コミュニケーション」



ポスター、シンボルマーク

昨年公募しましたポスター、シンボルマークには、合わせて十校から二百

八十一作品の応募がありました。二月十五日に一次審査、三月二十八日に二次審査を実施し、受賞者を決定しました。



ポスター表彰式

シンボルマーク

丹南高校二十五年三月卒業

吉田 由菜さん

「越前漆器のなかに、福井県の名物・名産の恐竜、めがね、水仙、越前がい、ふぐを詰めてみました。福井ってこんなに素敵なんだと思つてもらえるよう

にたくさん描きました。思わず二度見してしまったような、そんな思いを込めて、このマークを描きました。」



「マークを描きました。生徒、保護者、先生が手を取り合って未来に向かって行く思いを道と足跡に、また背景に県章を描くことで、これからも福井が発展してほしいという願いを込めました。」

・資料広報部会

藤島、丸岡、勝山、武生工業、若狭東、敦賀、鯖江、金津、奥越明成、足羽、道守、武生東、武生商業、美方

・歓迎部会

敦賀、鯖江、金津、春江工業、丹南、武生池田、小浜水産

・分科会部会

敦賀、鯖江、金津、奥越明成、足羽、道守、武生東、武生商業、美方

・歓迎部会

敦賀、鯖江、金津、春江工業、丹南、武生池田、小浜水産

引き続き、各校PTA会長が所属する、総務・健全育成・進路対策・調査広報の四つの委員会に分かれて、本年度の委員会活動について熱心な議論がせられました。

引き続き、各校PTA会長が所属する、総務・健全育成・進路対策・調査広報の四つの委員会に分かれて、本年度の委員会活動について熱心な議論がせられました。



六月十五日(土)午後二時から、各校PTA A OSSAで開催されました。

会長会議がA OSSAで開催されました。

冒頭

に自己紹介

から始まりました。年度最初の各校の会長方の顔合わせとあつて、自分自身のこと、所属校のこと、単位PTAのこと等ユーモアを交えながらの巧みな自己紹介に会議の場が和むと同時に、お互いの親近感が増し、今後のPTAの活動に大いに弾みがつきました。

その後、県庁総務部新国体推進課からの出前講座があり、平成三十年に福井で開催される「福井しあわせ元気国体」についての話がありました。現在の開催準備状況や、最近開催された国体の開・閉会式や各競技会での高校生の活躍等を、画像を交えながら説明されました。話を聞きながら、「福井しあわせ元気国体」の成功に向け、高校生を持つ保護者として、またPTAとしてどのような協力ができるか考えさせられました。



各校PTA会長会議

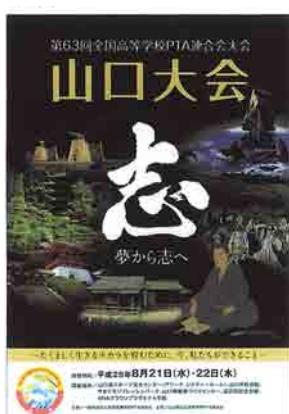
今年度の活動について協議

行われました。

その後、再び全員が一堂に集まり、今年度の重点取り組みである①「研究大会」「キャリアガイダンス研修会」の充実②県高P連大会予算の検討③全国高P連大会福井大会準備への協力について協議しました。時間が足りませんでしたが、日ごろから熱心にPTA活動に取り組んできた各校PTA会長の方ならではのさまざまな意見や、事務局への要望などが出て、今年度の活動の方針や課題等が見えてきた会長会議となりました。

最後に、四委員会からそれぞれ協議内容の報告があり、会長会議は午後五時過ぎに終了しました。

■ポスター



■シンボルマーク



今年の全国大会は山口県で

をお願いします。

また、主会場には全国の優れた単P広報紙の展示場が設けられます。本県からは、丸岡高校と金津高校の広報紙を出展します。全国の広報紙をご覧いただき、自校の参考にしていただけます。

高校生オーストラリア研修に十五名が参加

高校再編とPTA」では、奥越明成高校PTAが発表します。

来年にはいよいよ本県で全国大会が開催されます。そのため、山口大会は研究・視察や福井大会PRの場ということで、各校が参加する分科会を準備委員会で決めさせていただきました。希望もあつたと思いますが、どうかご了承下さい。多数の会員の皆様の参加

今年で十二回目を迎える当連合会主催の「福井県高校生オーストラリア生活体験研修」は、八月二日(金)から十六日(金)までの十五日間、クイーンズランド州ブリスベン郊外で県内八校から十五名が参加して実施します。

現地の高校では、午前は英語レッスン、午後は授業やスポーツ等を通じて現地生徒との文化交流を深めます。また、ゴールドコースト等の一日観光や現地大学でのキャンパスツアーなども予定されています。

ホームページ滞在で、ホストファミリーはまさしく家族の一員として受け入れてくれます。そのため帰国後も連絡を取り合い、親交を深める参加者もたくさんいます。多感な高校時代に、外国から見た日本を知ることは、人間形成や将来の進路選択に大きな影響を与えることでしょう。明るく積極的に行動し、多くの体験を積んできて欲しいと願っています。

インフォメーション

事務局所在地

〒九二八二三云 福井市下六条町一四一
TEL 〇七七六一四一四〇五三
FAX 〇七七六一四一四〇二三

INFORMATION

高校生総合保障制度 発足後19年目を迎えて

平成七年度発足しました高校生総合保障制度も、**今年度加入者は一、三〇名**を数えました。保護者各位ならびに学校関係者各位のご理解とご協力のもと、当制度は各高校のPTAの事業として推進が図られています。

毎年増加している**自転車の事故に重点をおいた補償プラン**もご用意しており、自転車による賠償事故や搭乗中の生徒本人のケガについて大きな補償を設定しています。

ところでこの時期になりますと、当制度に未加入の保護者の方から「入学時に手続きを忘れたので……」「子どもがクラブ活動を始めたので……」などの理由から中途加入をご希望されるケースがあります。まだ、加入手続きされていない保護者におかれましては、このような場合にも備えて是非、当制度の加入をご検討いただければ幸いであります。中途中止をご希望される方がいらっしゃいましたら下記の「高校生総合保障制度」事務局宛てご連絡いただければお手続きをご案内いたします。

○保険金の請求方法

保険金の請求についてはお手元に入者証をご用意のうえ、事故受付専用フリーダイヤル（0120-300-399）までご連絡ください。

1. 概要

- (1)傷害補償：加入了した高校生の3年間、1日中24時間のケガや万一の場合について補償されます。※Sプランについては病気補償もされます。
- (2)賠償責任：高校生があがまつて他人にケガをさせたり、他人の物を壊したときの法律上の賠償責任が補償されます。
- (3)加入了した高校生だけでなく、同居の家族全員が利用できる「医療・健康相談」制度があります。（通話料無料）
- (4)この制度は、主として新入生を対象としています。

2. 内容（Sは病気補償+地震補償、Aは地震補償付き）

補 償 内 容	病気補償+地震補償		地 震 补 償		自転車重点補償
	S プラン	A プラン	B プラン	C プラン	
①個人賠償責任補償 (一事故あたりの支払限度額)	(最高)5,000万円	(最高)3,000万円	(最高)3,000万円	(最高)3,000万円	(最高)3,000万円
②育英費用補償	(一時金)100万円	(一時金)100万円	(一時金)100万円	(一時金)100万円	(一時金)100万円
③学校管理下動産補償 (自己負担額1,000円)	契約年度毎に 最高5万円	契約年度毎に 最高5万円	契約年度毎に 最高5万円	契約年度毎に 最高5万円	
④自転車事故による 傷害(ケガ)の補償	死亡保険金額	610.1万円 (475.5万円)	584.2万円 (462.6万円)	572.1万円 (459.7万円)	519.2万円 (429.7万円)
	後遺障害保険金 (障害の程度によって)	約18.3万円～610.1万円 (約14.2万円～475.5万円)	約17.5万円～584.2万円 (約13.8万円～462.6万円)	約17.1万円～572.1万円 (約13.7万円～459.7万円)	約15.5万円～519.2万円 (約12.8万円～429.7万円)
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	1.5・3・6万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	補償しません
	入院保険金日額 (180日限度)	6,100円	5,900円	5,500円	4,000円
	通院保険金日額 (90日限度)	3,400円	3,200円	3,000円	2,000円
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高50万円	最高50万円		補償しません
⑤自転車事故以外の 傷害(ケガ)の補償	死亡保険金	230.1万円 (167.5万円)	204.2万円 (154.6万円)	192.1万円 (151.7万円)	139.2万円 (121.7万円)
	後遺障害保険金 (障害の程度によって)	約6.9万円～230.1万円 (約5.0万円～167.5万円)	約6.1万円～204.2万円 (約4.6万円～154.6万円)	約5.7万円～192.1万円 (約4.5万円～151.7万円)	約4.1万円～139.2万円 (約3.6万円～121.7万円)
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	1.5・3・6万円 (入院を伴う手術が対象1事故あたり1回)	
	入院保険金日額 (180日限度)	2,100円	1,900円	1,500円	
	通院保険金日額 (90日限度)	1,400円	1,200円	1,000円	
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高50万円	最高50万円		
⑦細菌性食中毒補償					補償します
⑧熱中症補償					補償します
⑨地震・噴火・津波補償		上記②⑤⑥の内容で補償します			
⑩病気の補償	疾病入院医療保険金日額 (1泊2日以上の入院・60日限度)	2,000円			
	疾病手術医療保険金 (所定の手術の種類により)	2・4・8万円			補償しません
	疾病入院療養一時金 (60日以上の入院が必要と診断された場合)	20万円			
24時間医療健康電話相談	あり	あり	あり	あり	
制 度 掛 金 (3年間一括)	35,000円	28,000円	20,000円	10,000円	

制度掛金には制度運営費140円を含みます。上記保険金額・掛け金制度は、加入者1,000名以上の場合です。1,000名未満の場合は保険金額が変更になります。詳しくはパンフレットにてご確認ください。

● お問い合わせ先・連絡先 ● 福井県高等学校PTA連合会「高校生総合保障制度」事務局

〒910-0006 福井市中央3-3-23 北陸中央ビル5階 AIU保険会社内 TEL 0776(28)0144(月～金、9:00～17:00)

引受保険会社/AIU保険会社(幹事)・あいおいニッセイ同和損害保険㈱・㈱損害保険ジャパン・三井住友海上火災保険㈱